

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ

 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038

四半期報告書提出予定日 2023年1月25日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の業績 (2022年10月1日~2022年12月31日)
(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	908	△21.2	△186	—	△183	—	△185	—
2022年9月期第1四半期	1,152	16.1	38	△74.6	38	△74.6	90	△14.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△14.79	—
2022年9月期第1四半期	7.29	7.08

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	8,108	5,395	65.9
2022年9月期	8,255	5,576	67.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 5,342百万円 2022年9月期 5,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,840	△8.7	△880	—	△880	—	△890	—	△70.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	12,568,700株	2022年9月期	12,568,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	130株	2022年9月期	130株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期1Q	12,568,570株	2022年9月期1Q	12,430,700株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の思いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（消費者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを運営しております。

また、付随サービスとして企業等有する研究開発技術を活かした新事業の創出をサポートするMakuake Incubation StudioやMakuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行、プロジェクト終了後ECサイトにて継続販売するMakuake STORE、海外からの応援購入を受け付けるECサイトMakuake Global、全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP等を提供しております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しが期待されております。中でも、個人消費は政府が実施する全国旅行支援等に後押しされ、旅行及び外食を中心に緩やかに持ち直しております。一方、世界的な金融引き締めやウクライナ情勢の長期化等による原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇等が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当事業は新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の影響を受けております。当該市場は2020年から2021年に掛けて、新型コロナウイルス感染症拡大によって変化したライフスタイルやワークスタイルにより需要が急拡大した後、国内における経済活動の正常化が進む中で落ち着きを戻した形で成長を続けており、今後においても新商品及び新サービスデビューのEコマース市場は非常に高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間は当事業年度（2022年10月1日～2023年9月30日）の成長に向けた基本方針である「顧客満足度向上施策をより強固にすることでリピート顧客から作られる事業の安定成長基盤を拡大すると同時に、獲得に特化した組織を構築、顧客層をより拡大し潜在市場（TAM）を顕在化していく」ことの施策として、主に実行者側のリピータブルな顧客体験の仕組み作りを進めてまいりました。

具体的には、実行者のニーズをより正確に把握するために全実行者を対象とする満足度調査の仕組みを作り、システムで可視化することで実行者の声に基づいたオペレーション改善が出来る体制を構築したことやプロジェクト掲載までの実行者負担をできるだけ減らすためのオペレーション改善及び機能開発、また、実行者にMakuakeを通じてファンのサポーターを獲得し、積み上がったファンサポーターをベースに事業を成長させる仕組み作り等に関する情報を発信するツール等の新設を行いました。これらの施策によりリピート実行者による掲載開始数は施策実施前の前四半期比32件増加し、1,116件となりました。

また、前事業年度の下半期から始まったリ・オープニングの影響は当第1四半期累計期間中も続いており、実行者サポート拡充や新規獲得施策等によりCVR（コンバージョンレート=応援購入件数÷アクセスUU）は前年同四半期比0.2pt増加の3.0%となりましたが、応援購入総額は前年同四半期比20.8%減少の4,251,611千円となりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は908,438千円（前年同四半期比21.2%減）、営業損失は186,298千円（前年同四半期は営業利益38,560千円）、経常損失は183,237千円（前年同四半期は経常利益38,650千円）、四半期純損失は185,900千円（前年同四半期は四半期純利益90,561千円）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は8,108,672千円となり、前事業年度末と比べ146,461千円の減少となりました。

流動資産は290,247千円減少し、7,602,280千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が379,092千円減少したことによるものであります。

固定資産は146,254千円増加し、499,974千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が147,534千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は2,713,405千円となり、前事業年度末に比べ34,621千円の増加となりました。

流動負債は34,494千円増加し、2,650,934千円となりました。主たる要因は、その他に含まれる未払消費税等が18,439千円増加したことによるものであります。

固定負債は126千円増加し、62,470千円となりました。主たる要因は、退職給付引当金が486千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は5,395,267千円となり、前事業年度末に比べ181,082千円の減少となりました。主たる要因は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が185,900千円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきまして、2022年9月期決算発表時から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,193,507	4,814,415
プロジェクト預り用預金	2,128,290	2,146,420
売掛金	339,328	387,464
その他	238,683	261,262
貸倒引当金	△7,282	△7,282
流動資産合計	7,892,528	7,602,280
固定資産		
有形固定資産	-	1,564
無形固定資産	-	147,534
投資その他の資産		
その他	361,257	358,413
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	353,719	350,875
固定資産合計	353,719	499,974
繰延資産	8,886	6,417
資産合計	8,255,134	8,108,672
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	14,565	12,047
預り金	2,138,393	2,148,641
その他	463,481	490,245
流動負債合計	2,616,440	2,650,934
固定負債		
退職給付引当金	1,658	2,145
勤続インセンティブ引当金	60,685	60,325
固定負債合計	62,344	62,470
負債合計	2,678,784	2,713,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,120,279	3,120,279
資本剰余金	3,120,279	3,120,279
利益剰余金	△711,764	△897,664
自己株式	△625	△625
株主資本合計	5,528,170	5,342,269
新株予約権	48,179	52,997
純資産合計	5,576,349	5,395,267
負債純資産合計	8,255,134	8,108,672

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,152,566	908,438
売上原価	229,372	163,780
売上総利益	923,193	744,657
販売費及び一般管理費	884,633	930,956
営業利益又は営業損失(△)	38,560	△186,298
営業外収益		
受取利息	-	0
受取配当金	-	13
講演料等収入	2,749	2,844
助成金収入	-	2,810
その他	310	29
営業外収益合計	3,059	5,699
営業外費用		
為替差損	91	169
株式交付費償却	2,877	2,468
営業外費用合計	2,969	2,637
経常利益又は経常損失(△)	38,650	△183,237
特別利益		
投資有価証券売却益	97,500	-
特別利益合計	97,500	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	136,150	△183,237
法人税、住民税及び事業税	40,553	2,662
法人税等調整額	5,035	-
法人税等合計	45,588	2,662
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,561	△185,900

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。